

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2017-221323 (P2017-221323A)

【公開日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2017-049

【出願番号】特願 2016-117921 (P2016-117921)

【国際特許分類】

A 6 3 H 33/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/00 3 0 4 A

G 0 6 F 3/041 6 0 2

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 30 日 (2019.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液晶画面からなる描画用画面を備えた装置本体と、  
前記描画用画面上に設けられ、前記描画用画面への加圧を検出する感圧センサと、  
前記装置本体に、前記描画用画面に沿ってスライド可能に設けられた消去バーと、  
前記消去バーの位置を検出する消去バー位置センサと、  
前記描画用画面上の加圧検出位置に沿って前記描画用画面上に描画を行う描画処理を実行する制御ユニットと、  
を備え、

前記制御ユニットは、前記消去バーが、前記描画用画面の一端に位置する場合に、前記描画用画面の全域で描画が可能なお絵描きモードとし、前記消去バーの前記一端からもう一方の端部への移動にしたがって、前記描画用画面の前記一端から、前記描画用画面に表示された画像を、前記消去バーの移動範囲に応じて消去し、  
さらに、前記制御ユニットは、前記描画用画面に表示された画像を記憶する記憶部を備え、所定の前記全域の前記画像の消去操作前は、前記消去バーの前記消去を行う方向とは逆方向の移動により、一旦消去した前記画像の再表示を行うことを特徴とするお絵描き装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のお絵描き装置において、  
前記消去バー位置センサは、所定の画素単位に応じた領域を検出可能に形成され、  
前記制御ユニットは、前記消去バーの位置に応じ、通過した前記領域の前記画像の消去を行うことを特徴とするお絵描き装置。

【請求項 3】

液晶画面からなる描画用画面を備えた装置本体と、  
前記描画用画面上に設けられ、前記描画用画面への加圧を検出する感圧センサと、  
前記装置本体に、前記描画用画面に沿ってスライド可能に設けられた消去バーと、  
前記消去バーの位置を検出する消去バー位置センサと、  
前記描画用画面上の加圧検出位置に沿って前記描画用画面上に描画を行う描画処理を実

行する制御ユニットと、  
を備え、

前記消去バー位置センサは、所定の画素単位に応じた領域を検出可能に形成され、  
前記制御ユニットは、前記消去バーの移動時に、前記消去バーの位置に応じ、通過した  
前記領域の前記描画用画面に表示された画像の消去を行うことを特徴とするお絵描き装置  
。

【請求項 4】

請求項 2 または請求項 3 に記載のお絵描き装置において、  
前記消去バー位置センサは、前記消去バーの端子と接触可能な複数のポートを備え、各  
ポートの端子は、前記領域ごとに接触状態が異なるよう配置されていることを特徴とする  
お絵描き装置。